



発行元
東京新聞
南千住東口専売所
TEL5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
TEL090-2657-0300

平成22年の事件・事故 南千住警察署
TEL (3805) 0110

◇平成22年 南千住警察署管内において振り込み詐欺7件、ひったくり8件が発生しました。

警察官になりすまし「逮捕した泥棒があなたの通帳を持っていた」「銀行協会の者から電話がかかってくる」

金融庁・銀行協会を名乗り「職員が自宅までキャッシュカードを取りに行く」「悪用されないように暗証番号を変更するので今の暗証番号を教えてください」

★振り込み詐欺

◇9月9日(木)午後0時〜1時頃、南千住5丁目の70歳代女性に 荒川警察署の警察官と金融庁の職員を名乗る犯人から電話があり、「あなたの口座から何回かに分けて55万円に降ろされているため、キャッシュカードを新しく変える必要があるので 金融庁の者だと名乗る男にキャッシュカードを渡して」といわれ、取りに来た金融庁を名乗る男にキャッシュカードを渡し、暗証番号を教えた為、約500万円を引き落とされてしまった。

◇9月15日(水)午後0時〜2時40分頃、南千住8丁目の70歳代女性に 前日のお昼頃 若い男の声で「おばあちゃん、北千住に来たから今から行く。」と電話が入った。姪

の息子だと思ひ込み「上野税務署に400万円納めるのに後200万円足りないから、今すぐ銀行からお金を降して来て」とせかさされ、携帯電話番号を教えられ「税務署の小林さんが、おばあちゃんの家まで取りに行く」と犯人からのウソ電話をすつきり信じてしまった。被害者は、すぐに銀行で200万円を降し帰宅したところ、男に声をかけられ、税務署の小林さん

だと思ひ現金200万円を手渡ししてしまった。

◇11月11日(木)午後0時〜2時頃、南千住8丁目の70歳代女性に、警察の田中と名乗る男から電話があり、「キャッシュカードでお金を降ろされた人のリストにあなたの名前が載っている。降ろされたお金を返してもらおうには、新しいカードを作らなければならず、そのためには暗証番号が必要なので、これから金融庁のサトウキヨシという者を自宅に行かせるのでキャッシュカードを渡し、暗証番号を教えてください。」と言われ、お金が帰ってくるすつきり信じた被害者は、自宅に来た金融庁のサトウキヨシと名乗る男にカード2枚を渡してしまったところ、後日約70万円降ろされてしまった。

★ひったくり

「気をつけて手荷物・前カゴ・バイク音」

◇6月17日(木)午後1時30分頃、20歳代の女性がラテラスからの買い物帰り、コッ通りから裏路地(南千住5丁目)に入って歩いていたところ、突然、被害者のお尻当りにドスンと何かぶつかってきたため、驚いて振り向くと、自転車に乗った男が被害者のポーチをひったくり日光街道の方へ逃走した。

◇9月8日(水)午後8時頃、30歳代の女性

が、仕事帰りに自宅に向かう裏路地に自転車を押して歩いていたら、背後から男が走って来て、自転車の前カゴに入れてあったショルダーバッグを、ひったくり走って逃げた。(現場付近にいた自転車で乗っていた男女が被害者の「ドロボー」という声に気付き、犯人を押さえつけた)

◇9月27日(月)午前11時半頃、30歳代男性が銀行でお金をおろして、オリンピックで買った物後、腰にかけてたウエストポーチを外し、車道側の左手に持って歩いていたら、後ろからバイクのエンジン音が聞こえ、音が小さくなったと思ったら、いきなり左後方からスクーターに乗った男の右手で追い抜きざまにウエストポーチをひったくりられた。

《防ごう！高齢者の交通事故》

昨年度内において交通事故でなくなった65歳以上の高齢者は80人で、歩行中に亡くなった方は52人(前年比+10人)と増加しています。

南千住警察署管内での昨年の人身事故は139件(前年比-6件)このうち高齢者がケガをした事故は28件で全体の17.8%です。残念ながらお一人の方が亡くなっておりです。青信号で横断中でも、交通事故に逢うケースは後を断ちません。横断歩道をわたる、信号を守る等、交通ルールを守りながら、周囲の車の状況をよく確認しましょう。

自転車は車道が原則、歩道は例外。車道は左側通行。飲酒運転・二人乗り・並進の禁止。夜間はライト点灯・子どもはヘルメット着用。荒川区には自転車運転免許制度があります。講習を受けてみませんか。